



第1章 消防施設

Section A 消防本部・消防署



DATA

所在地: 小野市王子町 809 番地
規模・構造: 地上 3 階・鉄筋コンクリート造（免震構造）
延面積: 約 3,000 平方メートル
機能: 災害対策本部、防災意識啓発、消防本部及び消防署
建設費: 約 14 億円

《代表》TEL.0794-63-0119 FAX.0794-63-7199
《事務所直通電話》
総務課 TEL.0794-63-4633
予防課 TEL.0794-63-4634
消防課 TEL.0794-63-4635
救急課 TEL.0794-63-4636
指令室 FAX.0794-63-6699
《ホームページ》 <http://www.ono119.jp/>



初代消防庁舎（小野市上本町 250）

2代目消防庁舎（小野市王子町 806-1）

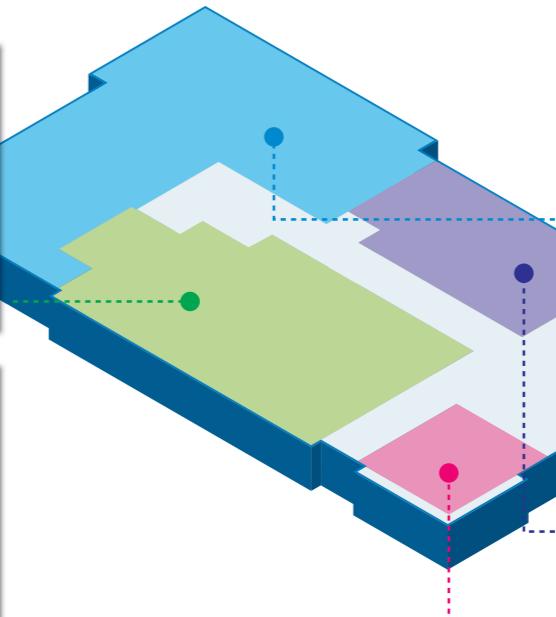
3 階



市民防災研修室2



市民防災ギャラリー



消防指令センター

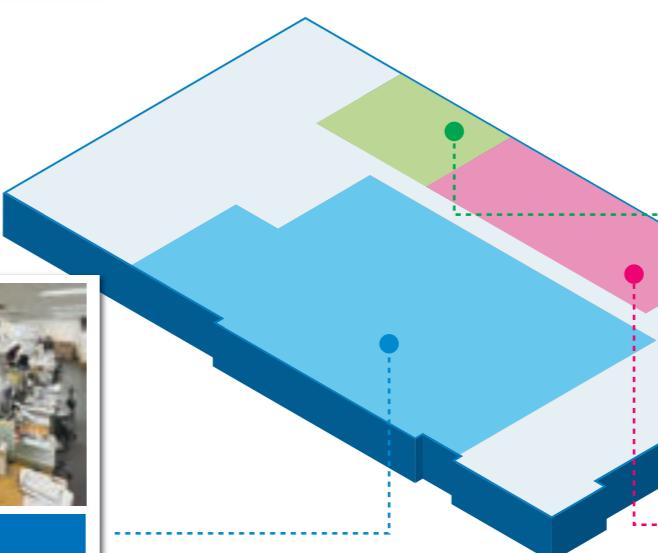


市民防災研修室1

2 階



消防本部事務室



トレーニングルーム



防災待機室

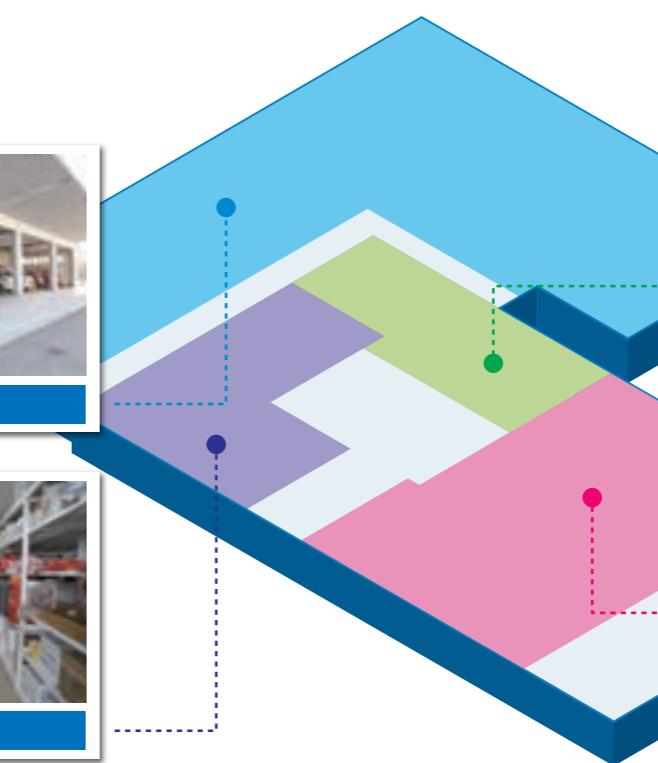
1 階



車庫



倉庫



出動準備室



仮眠室

1 軌跡

2 保革

3 闘史

4 跳進

5 詳録

1 軌跡

2 保革

3 闘史

4 跳進

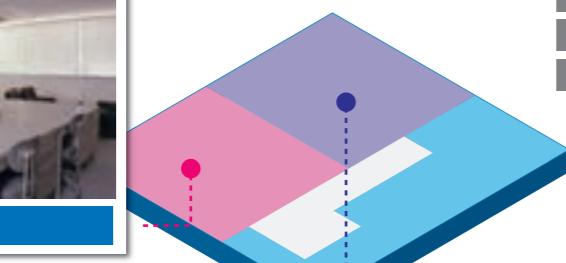
5 詳録

Section B 南分署

■匠台工業団地の完成で工場火災に対応するため、平成4年4月から南分署の運用が開始されました。また、平成9年12月の山陽自動車道の全線開通に伴い、三木小野ICから加古川北ICの下り区間も管轄、平成25年10月から北播磨総合医療センターの完成で、ドクターへリ離着陸の安全管理や転院搬送の出場拠点となっています。



2 階



DATA

- 所在地：小野市池尻町628番地の161
- 規模・構造：地上2階・鉄筋コンクリート造
- 延面積：約678.85平方メートル
- 機能：消防署南分署
- 建設費：約3億円

TEL.0794-63-0099 FAX.0794-62-6299

1 階



Section C その他の施設と管轄エリア

■消防署以外に、消防団特設部詰所が4箇所あり、消防ポンプ自動車(CD-I)を5台配備しています。また、平成25年9月の台風18号の影響により、粟田橋が落橋したため、翌年4月より河合地区及び下東条地区の現場到着時間を早めるため、救急隊を平日の日中のみ待機させる臨時北部救急拠点をNOSAI小野加東広域事務組合に設置しています。



■コミュニティ消防センター（中分団特設部詰所）



■南分団特設部詰所



■西分団特設部詰所



■下東条地域防災拠点施設（東分団特設部詰所）



■臨時北部救急拠点



■防災倉庫





第2章 消防車両

1 軌跡

2 保革

2 歴史

4 跳進

5 詳録



Section A KC-GD1JGBA 改 化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）

DATA

- 出 力: 215ps
- 排 気 量: 7.40 ℥
- 総 重 量: 9,610kg
- 配 備: 消防署
- 購入年月日: 平成 10 年 3 月



■水を 1,500 ℥、泡消火薬剤を 500 ℥ 積載し、搭載するポンプは A-1 級の性能を有しており、あらゆる火災に 対応するほか、油や電気などの原因によって生じる火災の消火に使われる車です。



DATA 化学消防自動車 I 型 (昭和 46 年配備)



DATA 化学消防自動車 II 型 (昭和 60 年配備)

Section

B

BDG-GX7JGWA 改
水槽付消防ポンプ自動車（水 I-A 型）

DATA

- 出 力: 220ps
- 排 気 量: 6.40 ℥
- 総 重 量: 9,540kg
- 配 備: 消防署
- 購入年月日: 平成 20 年 2 月

■水を 1,500 ℥ 積載し、搭載するポンプは A-2 級の性能を有しています。火災現場へ直近部署のほか、中継送水時等の、無圧水利にも幅広く対応するための 10m 吸管を装備している車です。



DATA 消防ポンプ自動車 A 2 級 (昭和 50 年配備)



DATA 消防ポンプ自動車 (平成 5 年配備)

Section

C

PK-FE8JGFA 改
水槽付消防ポンプ自動車（水 II 型）

DATA

- 出 力: 235ps
- 排 気 量: 7.68 ℥
- 総 重 量: 10,720kg
- 配 備: 南分署
- 購入年月日: 平成 17 年 2 月

■水を 2,000 ℥ 積載しており、搭載するポンプは A-1 級の性能があります。南分署で火災が発生すれば第一線で 現場に直近する車両です。中継送水にも対応するための 10m 吸管を装備している車です。



DATA 水槽付消防ポンプ自動車 (昭和 38 年配備)



DATA 水槽付消防ポンプ自動車 (平成元年配備)

1 軌跡

2 保革

3 歴史

4 跳進

5 詳録

Section D

KL-FG1JKDA 改 屈折はしご付消防自動車（20m級）

DATA

出 力: 220ps
排 気 量: 7.96ℓ
総 重 量: 13,520kg
配 備: 消防署
購入年月日: 平成 13年 9月

高所の災害に出動します。Σ(シグマ)型のはしごが地上から20mの高さまで伸び、先端についているバスケットで逃げ遅れた人を救出したり、高所から放水することができる車です。



DATA 20m級屈折はしご付消防ポンプ自動車 A 1級（昭和 59年配備）

Section E

PK-FE8JGFA 改 救助工作車（Ⅱ型）

DATA

出 力: 235ps
排 気 量: 7.68ℓ
総 重 量: 10,720kg
配 備: 消防署
購入年月日: 平成 27年 2月

災害対応特殊救助工作車であり油圧救助資機材等の各種救助用の資機材を数多く積載し、また、ウインチ、クレーン、照明器具などを装備しています。主に、火災で逃げ遅れた人や建物の事故や交通事故で閉じ込められた人を救助するための車です。



DATA 救助工作車（Ⅱ型）（平成 7年配備）

Section F

CBF-TRH226S 高規格救急自動車

DATA

出 力: 151ps
排 気 量: 2.69ℓ
総 重 量: 3,205kg
配 備: 消防署、南分署
購入年月日: 平成 17年 2月他

救急救命士による高度な処置が行える資機材を積載しています。傷病者室及び収納部分を拡大し、救急傷病者に走行時の振動等を与えないように、緩衝装置のついた防振架台等を装備して傷病者を安全に早く医療機関へ運ぶ車です。



DATA 高規格救急自動車（平成 8年配備）

DATA 救急自動車 R H 45 V B型（昭和 56年頃）



DATA 救急自動車 B 3型（昭和 49年配備）

DATA 救急自動車 A級（昭和 42年配備）

Section G

U-FS1VKBD 改 泡原液搬送車兼小型動力ポンプ付水槽車

DATA

出 力: 410ps
排 気 量: 21.54ℓ
総 重 量: 19,995kg
配 備: 南分署
購入年月日: 平成 5年 2月

10,000ℓのタンクと小型動力ポンプB-2級を積載し、2層構造で水を5,000ℓ、泡原液を5,000ℓ積載・搬送が可能です。工業団地を管轄する南分署に配備し、油や電気などの原因によって生じる火災の消火に使われる車です。





第3章 消防資器材

1 軌跡

2 保革

2 歴史

4 跳進

5 詳録



Section A 油圧救助資機材 ホルマトロ 大型油圧救助器具

DATA

- スプレッダー
- カッター
- 最大展開力： 21 t
- 最大切断力： 95 t

油圧ポンプで発生させた油圧を高圧ホースでスプレッダーやカッター等の器具に送り込み作動させます。スプレッダーは押し広げ作業等に、カッターは切断するためには使用します。主に重量物排除や交通事故等で変形した車両から要救助者を救出する目的で使用され、活躍頻度の高い救助資機材です。



Section B 救助用支柱器具 ホルマトロ パワーショア

DATA

- 最大荷重： 99.8kN (約 10 t)

建物倒壊、交通事故・土砂崩壊等の現場で崩れそうな部位を固定して、必要な救助活動スペースを素早く作り出し、二次災害を防いで安全に救助活動を実施するための資器材です。また、支柱の両端は各種アタッチメントを取り付けることができ、災害形態に応じた確実な固定が行えます。



Section C 呼吸保護具 ライフゼム Z30シリーズ、オキシゼム 11

DATA

- 空気呼吸器公称使用時間： 約 15 分間
- 酸素呼吸器公称使用時間： 約 150 分間

火災現場等で隊員の呼吸を保護する資機材で、ボンベや面体等から構成されています。使用可能時間はボンベの容量等によりますが約 15 分です。また、酸素呼吸器は、空気呼吸器とは異なり、循環式を採用しているので自己の呼気を循環させることで約 150 分間の長時間使用が可能で、トンネル火災等に威力を発揮します。



Section D 陽圧式化学防護服 MSA ザイトロン500

DATA

- 性能： レベル A 対応防護服
- 重量： 4.1kg

NBC災害において、最前線（ホットゾーン）で使用する防護服です。空気呼吸器を装着した隊員が着装します。陽圧式を採用しているので外気が防護服内に進入することなく、原因不明物質の採取や要救助者の救出にあります。またサイズはXLで、大柄な消防隊員も着装が可能です。



Section E ガス測定器 アルティア5X

DATA

- 稼働時間： 20 時間
- 使用可能温度： 0°C ~ 40°C

「可燃性ガス」「酸素」「一酸化炭素」「硫化水素」「塩素」の5ガスを測定することができます。また、モーションアラート機能を搭載しているので、アルティア5Xを装着している隊員が負傷により動けない状況に陥ると警報が作動し、周りに助けを求めることができます。
(※手動でも警報を発することができます。)



Section F 热画像直視装置 赤外線サーマルカメラ (热画像直視装置)

DATA

- 保護構造： IP67
- 耐落下性： 2.0m(コンクリート床)

火災現場で濃煙が立ち込める暗い環境下において、赤外線を利用して要救助者の確認や火点の確認を迅速に視覚化することができる資機材です。保護構造はIP67、耐落下性は2.0mと堅牢性があり、また、状況に合わせカラーモードを選択することでより鮮明に状況把握を行うことができます。



水難資器材 水難資器材

Section G

■ ウエットスーツ、BCジャケット、レギュレーター、3点セット（フィン、マスク、シュノーケル）を装着した隊員が、水中に潜り要救助者の検索や救出活動を行います。ウエットスーツはツーピース仕様で着脱が容易です。また、ドライスーツはウエットスーツの機動性と保温性を併せ持つ先進型二重構造で冬季における水難救助に威力を発揮します。



救命索発射装置 レスキューマックス

DATA

■ 最大到達距離： 106.7m
■ 最大充填圧力： 20.7Mpa

■ レスキューマックスは、ペットボトルロケットのようにシリンダー状の容器が空気を吐き出しながら空中に飛び出し、要救助者に救命具や救命索を到達させるためのものです。充填圧力を調節することにより到達距離を調整します。最大で 106.7m(充填圧力 20.7Mpa)まで到達することができます。水難現場においては救命具が着水を検知すると浮き輪が自動膨張します。



車両移動器具 ゴジャック ホイール キャスター

DATA

■ 最大荷重： 625 kg / 1 台
■ 対応ホイール径： 13 インチ～16 インチ

■ ジャッキ機能と移動機能を兼ね備えた車両移動用器具で、動かなくなった事故車両や違法駐車車両などのタイヤに取付けることで人力により自由に移動させることができます。主に普通自動車に対応し、消防活動を支援する消防資機材です。



加圧排煙機 テンペストプロアー

DATA

■ 送風量： 513.3 m³ / 分

■ 主に陽圧換気方式の消火戦術時に使用します。陽圧換気方式とは、火災建物内部の環境を制御するツールとして空気を利用する消火戦術です。テンペストプロアードは火災建物内の濃煙熱気を排除することで、濃煙、熱気、有毒ガス等を効果的に減少させます。消防隊員の消火・救助活動の安全性に大きく貢献するとともに視界が確保され、逃げ遅れの早期発見や火元を迅速に確認することができ被害の軽減に大きく貢献する資機材です。



ロープレスキュー資機材 都市型ロープレスキュー資機材

Section K

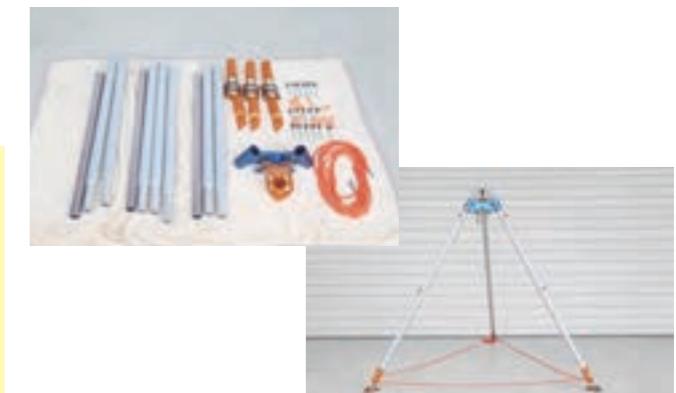
■ 従来の救助隊が使用してきた3つ打ちロープが基本の救助方法に変わり、専用ロープや各種ギアと呼ばれる器具を使用することで安全確実な救助活動が実施できます。少人数、省労力に貢献し、より迅速に安全確実な救助活動を実現することができます。



レスキューフレーム アリゾナボーテックス

Section L

■ 都市型ロープレスキューで使用する資機材で、マンホール救助や低所・高所からの救出において上部支点となるものです。フレームの設定方法を変更することで様々な現場で使用することができます。また、支点だけでなくロープ展張など汎用性が高く、これまで困難を要した現場での迅速で安全な進入・救出に貢献します。



呼吸管理資器材 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡（エアウェイスコープ）

Section M

DATA

■ 画像表示： 2.4 型カラー LED
■ 連続作動時間： 約 60 分

■ CCD カメラとモニター画面を内蔵した本体部分で構成され、容易に声帯をモニターで視認しながら安全かつ確実に気管挿管を実施できます。現在は、北播磨総合医療センターや県立加古川医療センター等の限られた医師の指示があった場合にのみ使用できます。



循環管理資器材 自動体外式除細動器（AED）

Section N

DATA

■ 救急車積載： FR3、FR2（予備）

■ 心肺機能が停止した場合に、必要があれば電気ショックを与えて心臓の働きを戻す試みをする医療器具です。救急車には各 2 台ずつ積載されており、最新型の FR3 という機種を使用しています。また、消防本部及び南分署はもちろん、市内公共施設にも AED が設置してあり、緊急時には貸出も行っています。



Section O 重症外傷対応資器材 バックボード

■ ボード、ヘッドイモビライザー、ストラップで構成され、脊髄損傷等の疑いがある傷病者に対して、ネックカラー（頸椎カラー）を装着後に全身固定をして搬送するための資器材です。X線も透過するので傷病者を固定したままレントゲン撮影が可能です。また、水に浮くので水難救助の現場でも活躍します。



Section P 集団災害対応資器材 防災用エアーテント

■ 屋形テントのようなフレームの組み立てが不要で、専用の送風機で空気を送り込むだけでスピーディーな設営が可能です。電源がないような場所では、空気ポンベを利用して設営することも可能です。多数傷病者が発生した場合の応急救護所や大災害が発生した際の現場指揮本部、また、イベント等で使用します。



Section Q 生物・化学災害対応資器材 BT-1除染システム

■ 新型インフルエンザをはじめとする各種病原体や硫化水素等の化学物質に対して、オゾンガスやオゾン水を利用して除染する資器材です。除染に薬液ではなくオゾンを利用することにより廃棄物の処理が不要で、短時間で100%に近い殺菌が可能です。また消防車の積載水を利用して大量のオゾン水を作り出すことも出来ます。



Section R 救急隊員トレーニング用資器材 レサシアン シミュレータ SimPad 版

■ 気管チューブや静脈路確保等の各デバイスを使用した蘇生関連処置以外にも、呼吸・脈拍などを再現して直接的な患者観察ができ、より実際の現場に近いトレーニングを実施することが出来ます。また、実施した手技の良否を機器が詳細に記録して事後評価を行うこともでき、救急隊員の効果的な教育に役立っています。

